

# 堺市と関西大学との地域連携事業 堺市の文化資本を活用した 地域活性化に関するプロジェクト

堺市の文化資本の一つである和菓子をキーワードにしたマップシステム（紙媒体のアナログマップとデジタルマップの連携システム）の作成と情報発信による同市の観光活性化に取り組みました。



完成した「S-Mapi」

## 活動の概要

目的	若者をターゲットにした堺市の観光活性化のサポート
連携メンバー	堺市広報部広報課シティプロモーション担当・観光部観光企画課・観光推進課 / 株式会社ハル / 関西大学総合情報学部 堀雅洋ゼミ / 同学部 徳山美津恵ゼミ
活動地域	大阪府堺市内 / 大阪市内 / 関西大学高槻キャンパス
活動期間	2013年10月1日～2014年3月31日



堺市で行われた「堺文化財特別公開」にて地図アプリをPR

難波駅周辺で「S-Mapi」を配布する学生

## 連携の経緯

2013年度より堺市と関西大学の地域連携事業のプロジェクト募集が全学的に始まった。連携メンバーである堀が堺市広報部広報課シティプロモーション担当とこれまでもプロモーションサイトの構築等で地域連携の取り組みをしていたこともあり、同市観光部担当者とは打合せを重ねる中で、新たな観光活性化の取組みとして、堺市の文化資本を発信するマップシステムの構築というアイデアを実現させることになった。

## 解決すべき課題

- (1) 堺市における観光の活性化

## 大学の役割

本プロジェクトに参加した総合情報学部掘ゼミ・徳山ゼミの学生が、堺市内でのフィールドワークを行うことで、同市が有する様々な文化資本を観光という観点で整理し、和菓子をはじめとする観光のキーワードと計画を作成した。その過程の中で、総合情報学部の強みを活かし、マップアプリとアナログのマップを組み合わせたマップシステムの「S-Mapi」を作成し、それを軸とした情報発信を行った。

## 現場の声

- ・株式会社ハル

堺市の観光促進をテーマに、ターゲットでもある学生自身が調査することで若年層のニーズやコミュニケーションの実態が伺えた意味のあるプロジェクトではないかと考えます。

- ・学生

学生の身軽さを活かし何度もフィールドワークを行うことで堺の生の情報を知ることができました。また、最初から最後まで学生自身がやりきる事で多くの貴重な経験ができたと思います。

## 研究者の紹介



総合情報学部 教授  
堀 雅洋  
(ほり まさひろ)



総合情報学部 教授  
徳山 美津恵  
(とくやま みつえ)

専門は知識情報学。様々な特性のユーザに対して情報のアクセス容易性を保証するための評価手法とデザイン原理を明らかにすることを目的としている。

専門はマーケティング、ブランド論。地域ブランドの研究を継続する中で自治体の各種委員を歴任するだけでなく、ゼミ生とともに地域活性化プロジェクトに取り組む。